

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳腺・甲状腺外科 Eribulin+初回用量 (IN) フェスコ皮下注療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年1月8日	
疾患名	乳癌		☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☒ 進行・再発化学療法 ☒ 術後化学療法 ☒ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・甲状腺外科						
登録医師名	高橋 寛敏						
適応	HER2陽性の切除不能・再発乳癌						
			実施回数	/回			

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	—	day8	—	—	—	—	—	—	
1	フェスコ配合皮下注 IN	1	瓶	皮下注射		8分以上	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 8分以上かけて、2mL/min以下の投与速度で大腿部に皮下注射 2) 投与終了後、30分の経過観察を行う 2回目移行は観察期間中に化学療法の投与可能 3) 薬剤部コメント：シリンジ調製で払い出し
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	グラニセトロン点滴静注液 1mgバック	1	袋	点滴静注	側管	30min	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶														
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	全開で	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	※0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと 〔輸液量：変更可（例：生理食塩液 30mL）〕 ※全開で投与（2～5分：10分以内なら可）
	ハラヴェン静注	1.4	mg/m2														
5																	
6																	

備考欄
大腿部以外には皮下注射しないこと、また前回投与部位からは2.5cm以上離れた部位に投与すること。
注射針は25Gが推奨されている。定期的に心エコー検査を行うこと。

減量・中止基準

文献